お知らせ

1月31日（水）が提出期限の書類が多く存在します。
「償却資産申告書」・「給与支払報告書」・「法定調書」等に関する資料のご提出依頼やご質問をさせていただく場合がございます。
ご協力の程、よろしくお願い申しあげます。

2024
1月号
vol.121

NEWS LETTER

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。
今年は「十干十二支」でいう「甲辰」だそうで、「成功という芽が成長し、姿を整えていく」縁起のいい年らしい。神仏に興味がないので他人の話のように思えてしまうが、負けず嫌いではあるので「他人以上に成功しなければ」という切迫感も湧いてくる。
ただ、「成功」の定義は難しい。この仕事をしていると、経済的成功を誰とも分かち合えていない社長を散見する。それでは「成功」とは言えないのではないか。私は、できれば周りと一緒に喜び合える「成功」を手にしたい。それは、全員参画型の挑戦の先にあるもの。皆さん今年１年頑張りましょう。

岡村　景明

＊Message From Staff
～今年の一文字～

＊副業がある人は300万人を突破

OKAMURA
TAX ACCOUNTANT OFFICE
Management&Accounting

ミライズ
100年先の企業を考える

岡村税理士事務所
兵庫県神戸市灘区永手町５丁目 2-24-202
TEL：078-862-3186 ／ FAX：078-862-3187
URL：http://www.okamura-tax.jp/

Message From Staff　～今年の一文字～

今年は１年間の中で何度か緊張をして挑戦できる機会を設けたいです。
プライベートでは習い事の発表、仕事では初めての業務へのチャレンジ。
背筋を伸ばして緊張できる時間を楽しみたいです。

直江 美佳

緊

昨年はやりたいと思ったことも、まだ難しいのではないかと思い動けませんでしたが、今年は考えるだけではなく、行動に移せる１年にしたいです。
公私ともに活動的に動きたいと思います。

山田 柾美

動

仕事は新しい知識が得られることがとても楽しいので、どんどん吸収できるようにしたいです。
また、プライベートでもなにか新しいことを始めることができればと思います。

安ノ井 里帆

新

1日1個でも小さな幸せを見つけて、心踊るような楽しい年にしたいです。

沖田 和美

踊

広い心を持ち、行動範囲も広げて己を磨く１年にしたいです。
お仕事でも広い視野をもって取り組みたいです。

森 真奈美

広

40代もあっという間とよく聞きます。
将来振り返った時に41歳の時に〇〇をしたと心に残るような印象深い年にできるよう行動したいと思います。

松尾 圭司

心

毎日の徒歩通勤往復4000歩にプラスαで一日6000歩以上を目標に歩くことを意識したいです。

芦谷 久美子

歩

平凡で平和に過ごせる１年にしたいです。
仕事では、目の前のモノ一つ一つを一生懸命こなしていきたいと思います。

本城 雄規

平

facebook やってます！！
インターン生が
毎週金曜日に更新中です！！
フェイスブック　岡村税理士事務所　検索
記事が良かったら いいね お願いします
URL：https://www.facebook.com/okamuratax/

副業がある人は300万人を突破

国の進める働き方改革により、副業が可能な環境が整ってきています。ここでは、2023年7月に発表された調査結果※から、都道府県別の副業に関するデータをご紹介します。

増加する副業がある人

上記調査結果から、都道府県別に副業がある人の数などをまとめると下表のとおりです。

2022年10月時点の全国で副業がある人は304.9万人となり、2017年から59.8万人の増加です。

都道府県別では、東京都が52.4万人で最も多くなりました。次いで、神奈川県や大阪府、愛知県、埼玉県などで、副業がある人の数が多くなりました。最も少ないのは鳥取県と徳島県の1.4万人でした。

副業者比率は4.8%に

全国の副業者比率（副業がある人の割合）は4.8%で、2017年から0.9ポイントの増加です。

都道府県別では、京都府が7.5%で最も高く、東京都が6.5%で続いています。最も低いのは宮崎県の3.3%でした。

人材不足対策として、副業人材を活用する企業があります。業務内容などにもよりますが、人材不足の企業では検討の余地があるかもしれません。

都道府県別の副業がある人と副業者比率（万人、%）

	副業がある人	副業者比率		副業がある人	副業者比率		副業がある人	副業者比率
全国	304.9	4.8	富山県	2.3	4.4	島根県	1.7	5.3
北海道	10.5	4.2	石川県	2.6	4.5	岡山県	4.4	4.8
青森県	2.0	3.7	福井県	1.9	4.8	広島県	6.3	4.5
岩手県	2.6	4.7	山梨県	2.0	4.8	山口県	2.8	4.4
宮城県	4.5	4.0	長野県	5.4	5.3	徳島県	1.4	4.4
秋田県	1.8	4.1	岐阜県	4.2	4.2	香川県	1.8	4.0
山形県	2.2	4.5	静岡県	6.7	3.6	愛媛県	2.6	4.3
福島県	3.6	4.1	愛知県	19.0	4.8	高知県	1.6	5.2
茨城県	5.7	4.1	三重県	3.6	4.1	福岡県	10.2	4.0
栃木県	4.1	4.3	滋賀県	3.3	4.6	佐賀県	1.8	4.8
群馬県	4.0	4.2	京都府	9.7	7.5	長崎県	2.5	4.3
埼玉県	17.2	4.5	大阪府	21.5	4.8	熊本県	3.5	4.4
千葉県	13.6	4.3	兵庫県	12.5	4.8	大分県	1.8	3.5
東京都	52.4	6.5	奈良県	3.0	4.9	宮崎県	1.6	3.3
神奈川県	25.3	5.1	和歌山県	2.3	5.6	鹿児島県	3.1	4.2
新潟県	4.5	4.3	鳥取県	1.4	5.5	沖縄県	3.0	4.3

総務省「令和4年就業構造基本調査」結果の概要より作成

※総務省「令和4年就業構造基本調査」
全国の約54万世帯（15歳以上の世帯員約108万人）を対象に、2022年（令和4年）10月1日現在で行われた調査です。副業とは主な仕事以外に就いている仕事をいい、ここでの副業がある人は非農林業従事者のうち副業がある人です。詳細は次のURLのページから確認いただけます。
https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2022/index2.html